

第 12 回鎌倉市観光基本計画推進協議会 会議要旨

■日時： 平成 28 年 5 月 26 日（木）10：00～11：10

■場所： 鎌倉市役所本庁舎 2 階 全員協議会室

■出席者： 別紙出席者名簿のとおり

- 会議の議長については、鎌倉市観光基本計画推進協議会設置要綱第 6 条第 1 項及び同要綱第 4 条第 2 項に基づき、会長である小池市民活動部長が就任し、議事進行を行うこととなった。
- 議長から、交通機関の乱れ等により、協議会の開始予定時刻に間に合わない者が何名かいたことから、「議題（1）第 3 期鎌倉市観光基本計画について」と「議題（2）会員からの報告について」の議事の順番を入れ替える提案があり、委員全員から了承された。

■議題（2） 会員からの報告について

○市からの報告事項について

<事務局から資料 4 に基づき、説明>

<質疑応答は次のとおり>

（会員）

参考資料 2 について、外国の入込客数は出てこないのか。

（事務局）

市内に訪れる外国人観光客数については、正確な統計を出していないが、国としては 1,973 万 3000 との試算が出ており、過去最高の数値である。

（会員）

資料 4 記載の報告事項は、全て市民活動部が所管しているのか。

（事務局）

報告事項 1 「日本遺産の認定について」は、歴史まちづくり推進担当が所管しており、観光担当も参加している。報告事項 2 「平成 27 年入込観光客数について」から報告事項 5 「多言語メニュー翻訳支援事業について」までは観光担当が所管し、報告事項 6 「東大寺サミットの開催について」は文化財課と観光担当が連携して取り組んでいる。報告事項 7 「光の波プロジェクトについて」は、経営企画課が所管しているが、事業の中身については観光担当が連携して取り組むものである。

（会員）

資料 4 の報告事項 3 「日本遺産の認定」について、詳しい説明をしてほしい。今後の具

体的な取組はどうなるのか。

(事務局)

市役所だけでなく、観光協会や社寺とも協議をして進めてきている。現段階では、まだ具体的な取組は案の段階であり、この案を映像化したものやブックレットを作成したり、ボランティアガイドを育成したり、研究費に当てたりすることを考えている。

○市以外の会員からの報告事項について

(会員)

今後の課題としては、2019年のラグビーワールドカップと2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた観光客の増加が見込まれるなかで、各関係団体と連携してインバウンド対応に取り組んでいくことだと考えている。特に、東京オリンピック・パラリンピックでは、隣の藤沢市江ノ島がセーリング競技の会場になっており、これに伴う影響への対応も課題である。また、鎌倉駅東口の鎌倉市観光案内所が10月に移設される予定であり、こうしたことにも対応しながら、今後はJNTOの認定案内所「カテゴリー3」への認定も目指して、課題解決に向けて取り組んでいく。関係する皆様のご協力もお願いしたい。

その他、ラグビーワールドカップの決勝戦が開かれる横浜市のコンベンションビューローとも連携して、横浜での宿泊客を鎌倉に取り込むことにも取り組んでいきたい。

(会員)

市のWi-Fi整備事業と関連した報告になるが、江ノ電でも同様の取組を行っており、この6月から全駅でフリーWi-Fi接続環境の整備が完了する。

■議題(1) 第3期鎌倉市観光基本計画について

<資料1～3に基づき、事務局から説明>

今後、資料2に記載のとおり、この観光基本計画推進協議会の下部組織として3つの部会を立ち上げる予定であり、関係する会員には、後日、部会への参加を市からお願いさせていただく。

その部会の中で、新たに策定する「アクションプラン」について検討していきたい。

<質疑応答は次のとおり>

(会員)

推進体制について、3つの部会の検討事項の中には、他の部会と検討内容の整合性を取る必要があるものが含まれると思うが、例えば市の中でも、交通問題など関係する分野や部署との連携はどのように行うのか。

(事務局)

市内部の調整については、観光商工課だけでなく、関係部署とも調整を図りながら、整

合性を図っていききたい。観光担当の課長としても、庁内の様々な分野の会議に出席しているので、ご懸念を払拭できるように、他部門とも幅広く調整することに努めていく。

(会員)

オリンピックの準備に向けた庁内組織を立ち上げたと聞いているが、まだ、様々な面で準備が遅れていると考えられる。準備については、県に働きかけて進めてもらいたい。

(事務局)

県への働きかけにも努めていく。

(会員)

大船にあった松竹撮影所は全国にファンも多く、撮影所があった大船を新たな観光資源として発掘と活用をお願いしたい。

(事務局)

前回の協議会でも同様のご発言をいただいた。新たな観光資源の発掘・活用による観光客の分散化は重要な施策であると承知している。平成 27 年度には、大船観音寺に建てている名所掲示板の改修をクラウドファンディングという手法を使って実施した。今後も、大船地域をはじめ、深沢地域や腰越地域における観光資源の発掘と活用に引き続き取り組んでいきたいと考えている。

<その他質疑応答はなく、新たな観光基本計画の推進体制について、了承>

■その他

次回の会議は、10月を予定している。また、開催通知をお送りする。

なお、それまでの間、各会員として取り上げて欲しい議題や報告事項があれば、事務局までご連絡をお願いします。

以上で閉会